

【グループ目標】

5領域 (1)健康・生活 (2)運動・感覚 (3)人間関係・社会性 (4)言語・コミュニケーション (5)認知・行動

- ① 目的をもって活動に参加し、メリハリのある生活の中で社会性を育んでいく。(3)(5)
- ② 持ち物や予定の管理スキルを高め、自分自身でできることを増やしていく。(1)(2)(3)
- ③ 自己受容を高めていき、得意なことは伸ばすとともに、苦手なことに対して、自分で努力する力と周りに働きかけながらサポートを受ける力を身につける。(3)(4)(5)

【目標の具現化】

- ①

各活動の目的を明確に提示することで活動に対する意識を高め、子ども達一人ひとりが目的意識をもって学習やその他の活動に取り組むことができるようにしていく。その中で、楽しむ時間と頑張る時間のバランスを調整し、利用している意義を見出していく。また、高学年として下学年の見本となる姿を引き出したり、活動を通して助け合ったりしながら社会性を育んでいく。
- ②

活動を通して自立するために必要なスキルを伸ばし、実行していける環境を整えていく。また、自他分離の認識を高め、人と比べることなく自己の課題と向き合う力が付くよう支援していく。
- ③

子どもたち自身が自己理解するサポートを行い、指導員との1対1での対話を大切にしながら発達段階に応じて自己受容を高めていく。その中で、得意なことを伸ばし、力にしていける術や苦手なことに対しての向き合い方やフォローの仕方を伝えていく。マイナスな感情から逃げるのではなく、対応する経験を積ませてあげられるよう支援を行っていく。また、子どもたちが周りの人に自身の困難さを伝え、サポートを受けていくスキルを身に付けることができる支援を行う。子どもたち一人ひとりの個性を尊重し、今後活躍していける環境を整えるインクルージョン教育を推進していく。

【活動日課・活動内容】

平日	学校休業日	長期休業日
学習 宿題+課題学習 16:45～主活動 ・スキルアップ(SST 含) ・レクリエーション ・選択活動 等 17:10～片付け・整頓	10:00～朝の会 10:05～学習 11:00～活動① 12:00～昼食 13:00～活動② 14:00～活動③ 14:30～選択活動 15:20～片付け・整頓	・事業所外学習を定期的に実施し、公共でのマナーや様々な体験活動を通し、成長を促す。 ・グループ全員で1つのことに向けて取り組める活動を用意し、達成を目指す。 ・インクルージョンの視点から、地域交流等のかかわりを取り入れる。

ビジョントレーニングや体幹トレーニング等、ニーズに合わせて行っていく。

【指導員の評価の観点】

- ☐ 学校や家庭での背景を予測して、個及びその日の状態に合った声掛けができていくか。
- ☐ 活動の目的を明確にして、活動の計画や実行にあたり、活動後に振り返ることができているか。
- ☐ 各個人に必要な支援ができていくか。又、それを家庭と共有できているか。
- ☐ 子ども達の良さや成長を、グループ全体で共有し、仲間同士で高め合う環境をつくっているか。